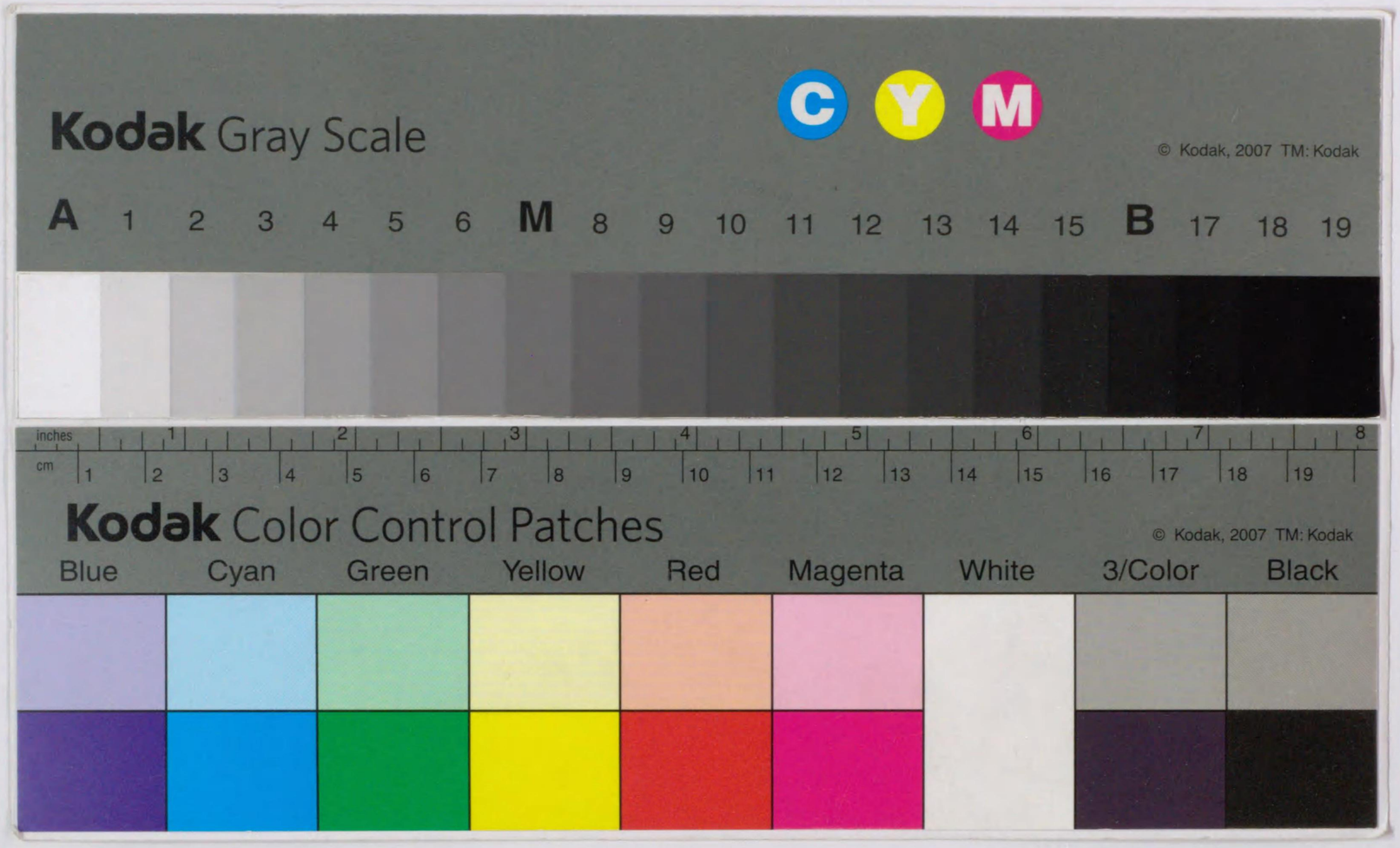


524 730
524-730
12005014941106

524
730

代用木炭ノ生産狀況

昭和二年九月

農林省山林局

正誤

(一)、一〇頁三行目ノ大小設備ノ整理トアルハ整否ノ誤リ。

(二)、第一表大阪ノ小計ノ行ニリグライト　一六二、〇〇〇　七五、六五四トアルハ兵庫縣ノ小計ノ行ニ印刷スル誤リ。

(三)、第二表青森ノ四段目ノ數量價格　一八〇、〇〇〇メ　六五、〇〇〇円　印刷洩レナリ。

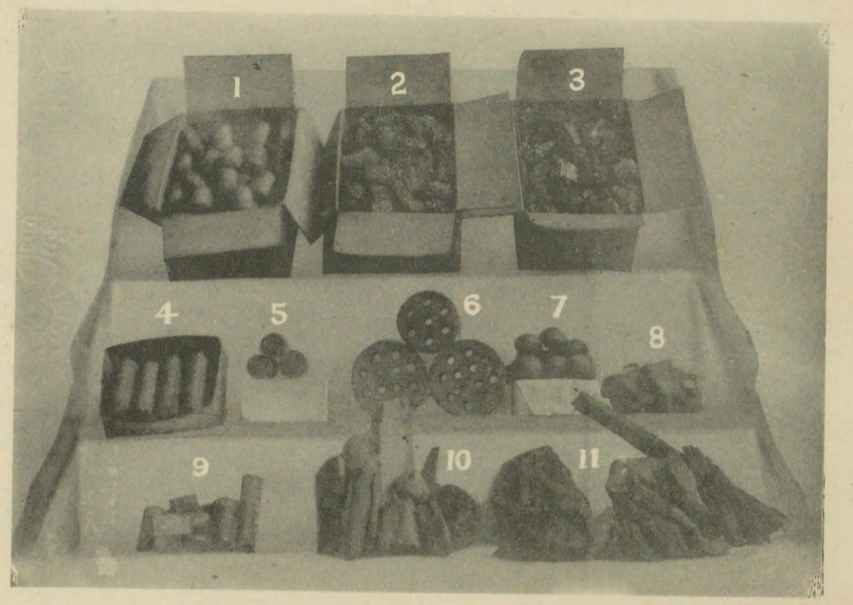
(四)、仝表ノ福岡ノ行計ハ佐賀ノ計　六三五、〇〇〇　一〇七、九五〇　印刷誤リニシテ佐賀ノ計　九四、四〇〇　五、五三八　印刷洩レナリ。

近時代用木炭ト稱シ殆ント木炭ト品質及用途ヲ同フスル代用燃料ノ考案漸ク多キヲ加ヘ之レカ生產逐年增加ノ趨勢ニ在リ、國內木炭ノ生產需給上參考ニ資センカ爲メ是カ最近ノ狀況ヲ調査シ茲ニ之ヲ刊行ス。

昭和貳年九月

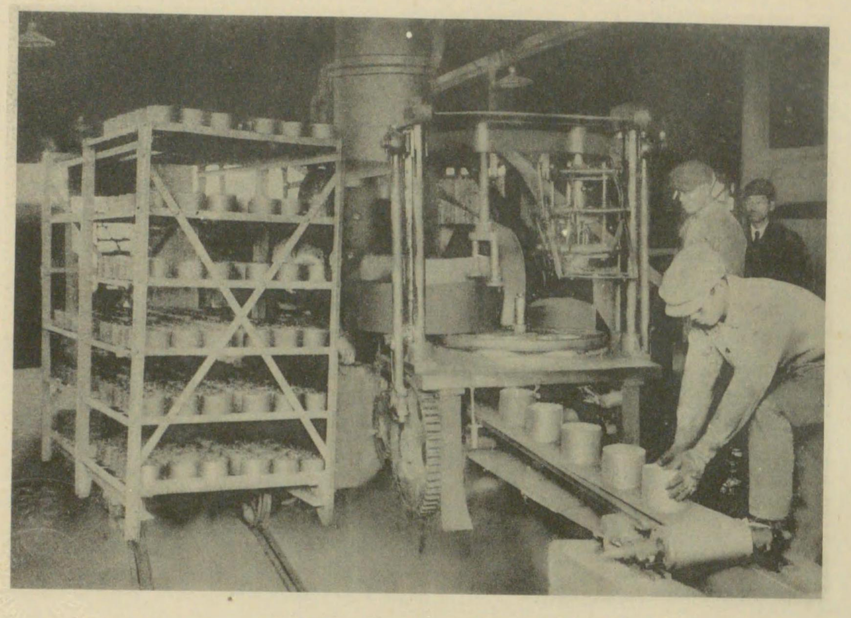
農林省山林局

帝國圖書館藏
寄贈本

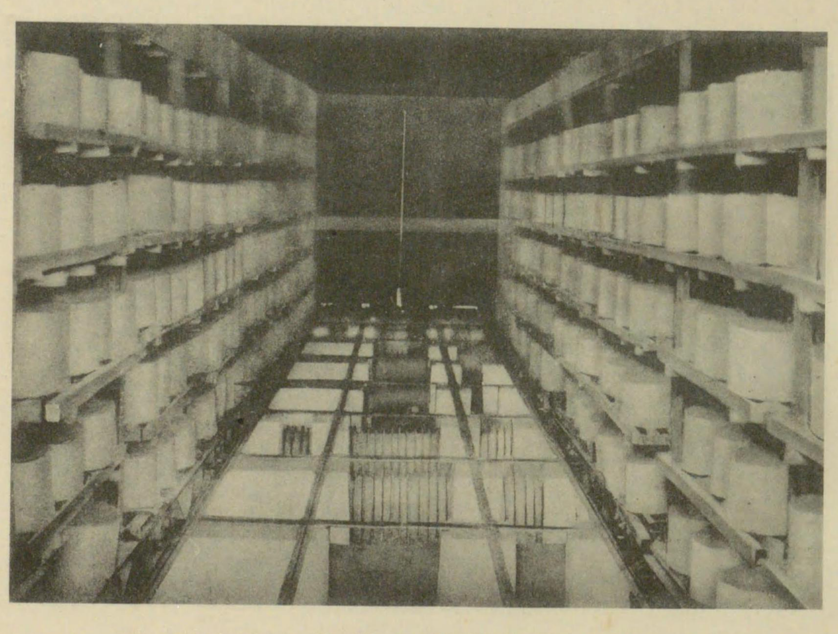


主要代用木炭

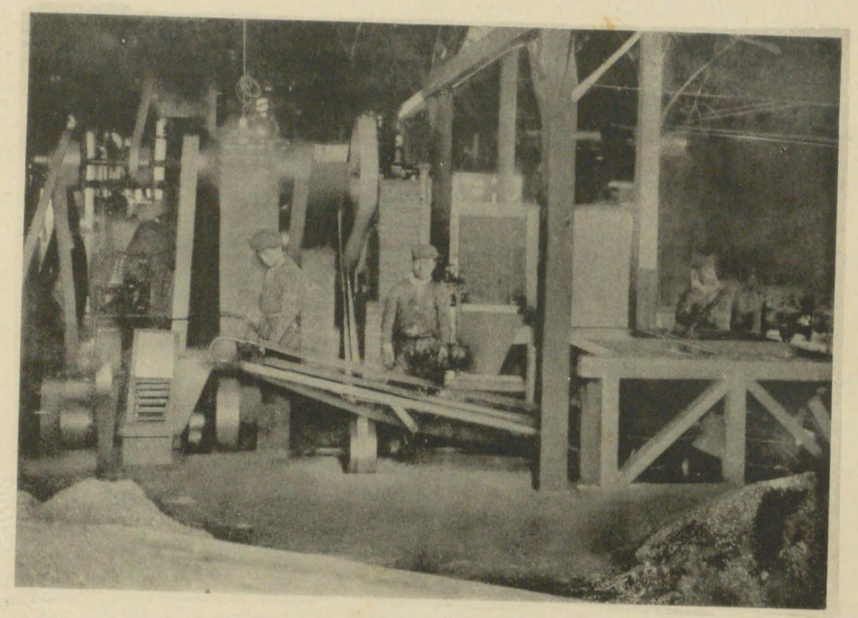
(1) 文化切炭
(2) 文化無灰炭
(3) 文化炭
(4) 末廣炭
(5) 鋸屑利用炭
(6) 穴明煉炭
(7) 豆炭
(8) (9) リグライト
(10) (11) 天然木炭



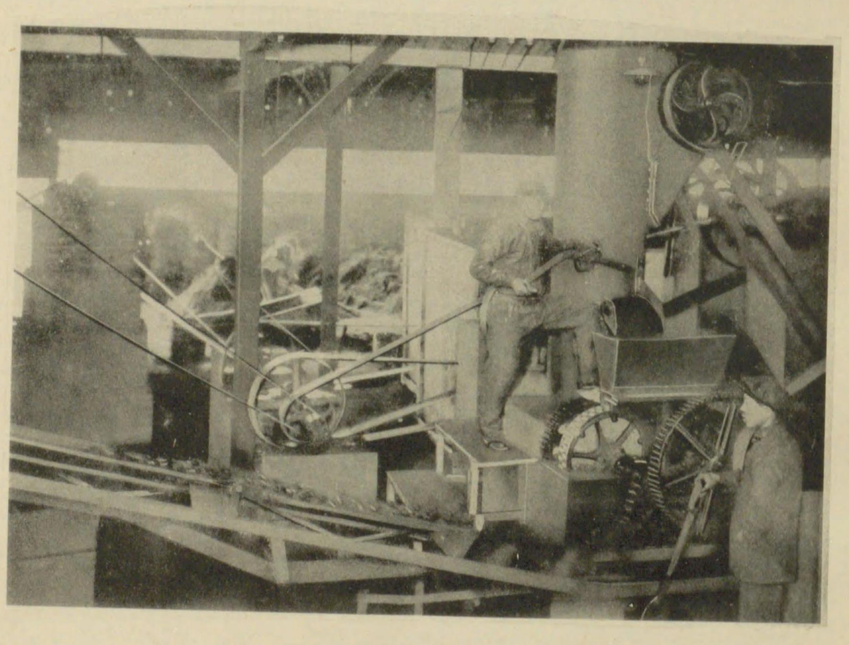
穴明煉炭製造機械ノ一部



穴明煉炭乾燥爐ノ内部



豆炭製造原料炭混合及ビ粉砕機ノ一部



豆炭製造機械ノ一部

524-730

代用木炭ノ生産狀況

目　次

第一、緒　論……一
第二、代用木炭ノ生産量……一
第三、代用木炭ノ種類及其ノ生産量……二
第四、代用木炭ノ原料需給ノ狀況……二
一、無焔炭ノ需給狀況……二
二、石炭ノ需給狀況……五
三、木質亞炭ノ需給狀況……五
（一）自然木炭……七
（二）高萩炭及白煙炭……七
（三）天然木炭（越井天炭）……八
第五、主要代用木炭ノ製法及生産費……八
一、無焔炭ヲ主原料トスル代用木炭……八
（一）煉　炭……八
（イ）製　法……九

（ロ）生産費及用途……一〇
（二）豆　炭……一二
（イ）製　法……一二
（ロ）生産費及用途……一三
（三）千歳炭……一四
（イ）製　法……一四
（ロ）生産費及用途……一五
二、石炭ヲ主原料トスル代用木炭……一六
（一）文化炭……一六
（イ）製　法……一六
（ロ）生産費及用途……一六
（二）文化切炭……一七
（イ）製　法……一七
（ロ）生産費及用途……一七
（三）無灰炭……一八
（イ）製　法……一八
（ロ）生産費及用途……一九
三、木質亞炭ヲ主原料トスル代用木炭……一九
（一）リグライト……一九
（イ）製　法……二〇
（ロ）生産費及用途……二〇
四、鋸屑ヲ主原料トスル代用木炭……二〇
（一）末廣炭……二〇
（イ）製　法……二一
（ロ）生産費及用途……二一
附　錄
第一表　府縣別代用木炭生産量……二三
第二表　府縣別代用木炭工場生産量……二三
第三表　府縣別代用木炭家庭生産量……二三
第四表　代用木炭製造工場一覽表……二三
一、無焰炭ヲ主原料トスルモノ……二三
二、石炭ヲ主原料トスルモノ……二三
三、木質亞炭ヲ主原料トスルモノ……二三
四、鋸屑雜木草炭ヲ主原料トスルモノ……二三

第一緒論

近時本邦各地ニ於テ製炭改良ノ聲喧シク高唱セラレ木炭ノ品質改善ノ跡歴然タルモノアルト共ニ之レカ生産逐次増加ノ趨勢ニ在リト雖モ一面人口ノ增加ト諸工業ノ發達更ニ著ルシク木炭ノ需要益々激增シ大正十年來本邦産木炭ヲ以テ需給ノ平準ヲ得サルニ至リ之レカ市場相場ノ如キ一般經濟界ノ狀勢ニ依リ元ヨリ多少ノ變遷ヲ免レサルモ過去十數年間ノ大勢ヲ見ルニ之レカ價格著シク昂騰ノ趨勢ヲ示セリ、茲ニ於テカ從來我國ハ多年木炭ノ輸出超過國タリシニ拘ラス大正十年來遂ニ輸入超過國トナリ隣邦支那ヲ初メトシ蘭領印度關東洲其他ノ諸國ヨリ最近ノ事實ニ徵スルモ年々七百萬貫內外ノ輸入ヲ仰クニ至レリ、然レトモ之等ノ輸入量ハ尙未タ國內需要量ノ二%ヲ滿サヽルノミナラス原料及運賃其他ノ關係ニ依リ五%內外ニ達スルコトナカルヘク本邦木炭界ノ將來ニ深ク憂フルニ足ラサルモノヽ如シ。然ルニ大正十年來代用木炭ト稱シ木炭代用品トシテ我國各地ニ於テ無焰炭ヲ主原料トシ製造スルニ至リシ「煉炭ハ其ノ主成分固定炭素ニシテ少シク臭氣ヲ有スト雖モ製法簡單ニシテ生産費安ク市價比較的低廉ナルノ故ヲ以テ著ルシク江湖ノ需要ヲ喚起セリ更ニ同シク無焰炭ヲ主原料トスル豆炭及千歲炭ヲ初メトシ石炭ヲ主原料トスル文化炭及無灰炭並ニ木質亞炭ヲ主原料トスル「リグライト」其他各種ノ代用燃料考案セラレ之レカ製造各地ニ勃興シ今ヤ大正十四年中ノ事實ニ徵スルモ其ノ產額五千四百萬貫ヲ超過シ最近我國木炭需要量五億萬貫ニ對シ已ニ一一%ニ及ハントセルノミナラス今後尙相當增加ノ趨勢ニ在リ本邦木炭業ノ將來ニ對シ由來之等ノ代用木炭ノ主原料ハ何レモ其ノ天然資源ニ限リアリ早晩其命脈ヲ絕ツニ至ルヘシト雖モ決シテ晏如タルヲ許サス斯業ニ從事スルモノハ薪炭林ノ增殖改良、木炭ノ增產生產費ノ低下ヲ圖リ多量ニ且ツ廉價ニ木炭ヲ市場ニ供給スルノ策ヲ講スルニアラスンハ遂ニ囓臍ノ悔ヲ胎スニ至ルヘシ。

第二　代用木炭ノ生産量

大正十四年中我國ニ於ケル代用木炭ノ生産量ハ五千四百七十八萬有餘貫ノ多キニ達シ之レカ産地ハ大阪府ヲ首位トシ一千二百十七萬三千餘貫ヲ産シ愛知縣之ニ次キ五百九十一萬餘貫ヲ産シ熊本縣之ニ次キ四百四十一萬餘貫ヲ産ス。

（附錄第一表參照）

今是等ノ生産ヲ會社又ハ工場等ニ於ケル稍々規模ノ大ナルモノニ依ル生産ト農家ノ副業或ハ都市ニ於ケル家庭ノ內職ニ依ル生産トニ區分シ其生産量ヲ調査スルニ前者ハ二千九百十二萬二千餘貫後者ハ二千五百六十六萬二千餘貫ヲ示シ兩者間ニ大ナル相違ヲ見ス而テ工場生産ノ首位ハ大阪府ニシテ一千二百十七萬三千餘貫ヲ産シ家庭生産ノ首位ハ愛知縣ニシテ三百二十萬四千餘貫ヲ産ス（附錄第二表第三表參照）

次ニ其原料ニ依リ之レカ生産量ヲ調査スルニ無焰炭粉ヲ原料トスルモノ四千五百四十七萬八千餘貫ノ多キニ及ヒ總生産高ノ八割三分ヲ占ム就中通稱穴明、孔明等煉炭ト稱スルモノ四千二百四十九萬二千餘貫ヲ占メ總生産高ノ七割七分ニ及フ。

第三　代用木炭ノ種類及其ノ生産量

現今我國各府縣ニ於テ生産セラルヽ代用木炭ハ其種類多シト雖モ大凡次ノ四種ニ分類スル事ヲ得。

（一）無焰炭粉ヲ主原料トスルモノ

（二）石炭ヲ主原料トスルモノ

（三）木質亞炭ヲ主原料トスルモノ

（四）鋸屑其他ヲ主原料トスルモノ

而テ是等四種ノ原料ニヨリテ各代用木炭ノ性質ヲ異ニスルハ勿論ナルモ同一原料ニ依リ生産セラルヽ代用木炭ニテモ副原料ノ差異、製法處理ノ方法等ニ依テ更ニ分類セラルヽモノナリ。

今是等ノ分類ニ依テ前項生産量ヲ再別セハ、次表ノ如ク原料トシテ無焰炭粉ヲ利用スルモノ最モ多ク、四千五百四十七萬八千五百十四貫ノ多キニ及ヒ石炭ヲ原料トスルモノ之ニ次キ七百六十九萬五千八百二十八貫ヲ産シ木質亞炭及鋸屑等ヲ原料トスルモノ順次之レニ次ク

無焰炭分ヲ原料トスルモノヽ內、通稱穴明煉炭ト稱シ圓筒形ニ無焰炭粉ヲ固型セシメ圓面ニ貫通スル小孔ヲ蜂巢形ニ穿テルモノ最モ多ク四千二百四十九萬二千餘貫ニ及フ、又同シク無焰炭粉ヲ主原料ト爲シ副原料トシテ糖密其他ヲ以テ豆形ニ固型セシメ、熱加シ消火セルモノアリ川澄豆炭、大同寶炭等之レニ屬シ其年産五百八十七萬貫餘ヲ産ス。

代用木炭原料別生産量表

原料	製品名	生産量 數量	歩合	備考
(一)無焰炭	穴開煉炭	四二、四九二、〇八一 貫	七七、五〇 %	無焰炭ヲ粉抹トシ副原料ヲ加ヘ其儘固型セシメルモノ
	豆炭	五、八七六、四三三	五、二五	無焰炭ヲ粉抹シ副原料ヲ加ヘ豆形トナシ蒸燒セルモノ
	千歲炭	一一〇、〇〇〇	〇、二〇	無焰炭ヲ粉抹トシ副原料ヲ加ヘ棒狀トナシ低溫乾餾セルモノ
小計		四五、四七八、五一四	八三、〇二	

(二)石炭	製炭(ストン炭)	三、二六四、〇〇〇		
	文化炭	九七二、六〇〇		
	玉炭	一、三五〇、〇〇〇		
	文化切炭	一、二六三、六〇〇		
	寶炭	三三五、〇〇〇		
	無灰炭	四八八、八〇〇		
	シンダー炭	二一、八二八		
	小計	七、六九五、八二八		
(三)木質亞炭	リグライト	一六二、〇〇〇		
	㈠煉亞炭	九〇〇、〇〇〇		
	炭	一、〇〇〇		
	小計	一、〇六三、〇〇〇		
(四)鋸屑木炭粉雜草木	末廣炭	三六〇、〇〇〇		
	小判形煉炭	一八〇、〇〇〇		
	丸玉煉炭	八、〇〇〇		
	小計	五四八、〇〇〇		
合計		五四、七八五、三四二		

製炭ト文化炭トハ同樣ノモノニシテ製炭ノ原料七、七三　石炭ハ山口縣宇部市東初見炭礦産ナリ文化炭ハ三菱方城炭ナリ、何レモ低溫乾餾セルモノナリ

玉炭文化切炭寶炭ハ何レモ同樣ノモノニシテ石五、三九　炭粉ニ副原料ヲ加ヘ豆形ニ製型シ是レヲ低溫乾餾セルモノナリ

無灰炭ハ「ヒッチ」ヲ原料トシ「シンダー」炭石炭〇、九三　「ガラ」ヲ原料トス

〇、三〇　高萩炭ト稱スル一種ノ木質亞炭ヲ原料トス

一、六四　煨炭ト稱スル木質亞炭ヲ原料トス

—　亞炭中木質ニ富ムモノヲ原料トス

〇六、六　鋸屑ヲ原料トス

〇、三三　木炭粉及「コークス」ヲ原料トス

〇、〇一　雜木及草炭ヲ原料トス

一四、〇五

一、九四

一、〇〇

第四　代用木炭ノ原料需給ノ狀況

一、無煙炭ノ需給狀況

現今我國ニ於テ生産セラレツヽアル代用木炭ノ原料トシテ最モ多量ニ消費セラレツヽアルモノハ、前段ニ於テ記述セル如ク無煙炭トス。

無煙炭トハ鐵黑色ニシテ強キ亞金屬光澤ヲ有ス、破碎面介殼狀ニシテ硬度二、乃至二、五比重一、三、乃至一、七ナリ化學成分ハ凡ソ次ノ如シ、

炭素	九〇—九五	純石炭ノ總分析	揮發物 一八、—七、〇
水素	四、五—五、一		固形炭素 八二、—九三
酸素	二、〇—二、五		
窒素	〇、五		

（但シ水分、灰分等ノ不純物ヲ除キ純石炭分ニ換算シタルモノナリ）

無煙炭ハ純石炭分ノ工業分析ニテ固形炭素八二、乃至九三ヲ含有シ、淡色ナル弱キ焰ヲ以テ燃ユ、故ニ無焰炭ト謂フ（無煙炭又ハ無烟炭ト書スハ誤謬ナリ）

我國ニ於ケル重ナル產地ハ山口縣大嶺村、和歌山縣新宮川流域、熊本縣天草島、秋田縣扇田町等ノ地方ニシテ近時朝鮮平安南道江西郡地方ニ產スル無煙炭多量ニ移入セラレツヽアルヲ見ル。

朝鮮無焰炭ハ元來海軍燃料廠ノ煉炭原料トシテ一手ニ利用セラレツヽアリシカ、軍縮ノ結果其販路ヲ民間煉炭製造原料ニ仕向ルニ至レリ、其ノ産額豐富ナルト、品質ノ内地品ニ優ル等ニ依リ本邦煉炭原料ノ大部分ヲ占ムルニ至レリ

現今煉炭ノ原料タル無焰炭ノ主ナル供給ヲ行ヒツヽアル會社ハ大凡次ノ如シ、

(一) 朝鮮無煙炭鑛株式會社(本店大阪市支店朝鮮)
(二) 大嶺無煙炭鑛株式會社(山口縣大嶺村)
(三) 扇田炭鑛株式會社(秋田縣扇田町)
(四) 山陽炭鑛株式會社
(五) 三菱製鐵株式會社
(六) 海軍燃料廠

斯クテ大正十四年中ニ、以上各會社カ煉炭原料トシテ、供給セシ量ハ、四千萬貫ニシテ、就中約五割、約二千萬貫ハ、朝鮮無煙炭鑛株式會社ノ供給ニシテ約三割、約一千三百萬貫ハ、大嶺無煙炭鑛株式會社ノ供給ナリト稱セラル無焰炭ヲ原料トスル煉炭ノ製造カ斯クノ如ク普及セラルヽニ至リシ所以ハ種々アルヘキモ、大凡次ノ如キ理由ニ依ルモノヽ如シ。

一、無焰炭ハ現今製造セラレツヽアル代用木炭原料ノ内ニテ最モ固定炭素ノ含有量多キ事。
二、煉炭製造ニ對スル原料ノ利用率大ニシテ單位當リ製品ノ價格カ負擔スル率即チ原料價カ低率ナル事。
三、製法簡單ニシテ婦女子ノ内職等手工的製造ニ適ス。
四、製品ノ單價、他ノ代用木炭ニ比シ低廉ナル事。

今各種代用木炭原料ニ付テ化學分析含有率ヲ比較セント次表ノ如シ

含有物種類 / 原料種類	炭素	水素	酸素	窒素	硫黄	灰分
無焰炭	九〇%	二、五%	二、五%	〇、五%	〇、五%	四%
石炭	七七	五、〇	七、〇	一、五	一、六	八
木質亞炭	六七	五、一	一九、五	一、一	一、〇	六、三
乾燥材	四八、五	六、〇	四三、五	〇、五		一、五

無焰炭ハ、炭素九〇%ニシテ石炭木質亞炭乾燥材ニ比シ含有炭素率最モ大ナルモノナルヲ知ル。

二　石炭ノ需給狀況

大正十四年中代用木炭ノ製造原料用ニ供セシ石炭ノ需要量ハ約一千三百九十九萬二千四百貫約五萬二千噸ニシテ之レヲ最近我國ニ於ケル石炭ノ總需要量三千四百十五萬噸ニ比スル時ハ之レカ歩合僅ニ千分ノ二ニ滿タス。極メテ微量ナルヲ知ル而シテ之レカ原料ハ主トシテ山口縣宇部市東見初炭礦産及福岡縣田川郡三菱方城炭及豐國産トス

三　木質亞炭ノ需給狀況

現今木質亞炭ヲ代用木炭ノ原料トシテ利用セラレツヽアルモノニ次ノ三種アリ

(一)自然木炭　大分縣宇佐郡下毛郡ノ海岸地方ニ産ス　(目下事業中止中)
　　東邦製炭工業株式會社
(二)高萩炭及白煙炭　兵庫縣三原郡賀集村ニ産ス
　　大阪市三谷龍三鑛業所經營

(三)天然木炭越井天炭　支那山西省大同府口泉地方
直隷省宣化府涿鹿　大阪市西區北堀江三番町
越井商會扱

(一)　自然木炭

自然木炭ハ大分縣下宇佐下毛兩郡内海岸地方ノ土中ヨリ採堀セラル、所ノモノニシテ之レカ成因ハ太古樹木カ火山噴火ニヨリ熱灰中ニ埋レ炭化セシモノ、如ク已ニ完全炭化ヲ爲セルモノハ外觀及性質共木炭ト異ナル事無ク採堀ノ儘木炭ニ代用セラルト雖モ尚未タ完全ニ炭化セサルモノニアリテハ更ニ低溫乾餾ヲ行ヒ調製セラル、モノトス。由來本木炭ノ發見ハ、大正九年頃一農夫ノ發見ニシテ、南礦業合名會社員ノ聞知スル處トナリ、調査ノ結果木炭層ヲ確メ、約百九十萬坪ノ土地ヲ買收シ一坪ヨリ約三〇〇貫採堀シ事業ヲ開始セシカ、大正十三年中東邦製炭工業株式會社ヘ礦區權九十萬圓地代二萬圓ニテ賣拂ヒ會社ハ年生産額五四〇萬貫採堀豫定ニテ事業ヲ開始セシカ目下事業中止中ニ屬ス。

(二)　高萩炭白煙炭

高萩炭ハ所謂木質亞炭ニシテ通稱ノ埋木ナリ外觀木質ニシテ褐色ヲ呈ス白煙炭ハ植物ノ枝葉カ埋設シテ炭化セル亞炭ナリ、目下高萩炭ハ低溫乾餾ヲ行ヒ「リグライト」トナリ近年相當ノ産額アリ、又白煙炭ハ煉炭ノ副原料トシテ需要アリ。

(三)　天然木炭(越井天炭)

天然木炭(商品名「越井天炭」)(大阪市西區北堀江三番町岡橋ビルデイング内越井商會扱)ハ支那ニ産スルモノニシテ二種アリ煨炭ハ有煙ニシテ質固ク火力強烈、灰ハ赤味ヲ帶フ、産地ハ支那直隷省宣化府涿鹿縣内黄土灣天與炭坑外三ニ産ス熔火炭ハ無煙ニシテ、質軟カク火力弱ク灰ハ白色ナリ産地ハ山西省大同府口泉地方トス。

是等天然木炭ノ成因ハ太古沼澤上厚ク繁茂セシ、濕地植物カ年々數度ノ野火ニ會シ或ハ砂塵ニ被ハレ雨期ニハ再ヒ繁茂シ長年間反覆繰返サレ堆積炭化セルモノニシテ、恰モ木炭粉カ層ヲ爲セルカ如キ現象ヲ呈ス。

越井商會カ越井天炭ト稱シ本邦ニ初メテ輸入シタルハ大正九年ニシテ煨炭一二〇噸ヲ輸入シタリ大正十二年ニハ口泉ヨリ熔火炭ヲ輸入セリ、最近ノ輸入量ハ煨炭一〇、〇〇〇噸熔火炭二〇、〇〇〇噸合計三萬噸ニシテ此ノ内七割ハ大阪市ニ殘リ三割ハ關東地方ヘ移出シ煉炭ノ副原料トシテ供給セラル煉炭原料ニ混合セハ煉炭ノ火付ヲ良好ナラシムトノ說アリ、今後ノ輸入能力ハ一〇萬噸内外ノ見込ナリト稱セラル。

第五　主要代用木炭ノ製法及生産費

一、無焰炭ヲ主原料トスル代用木炭

(一)　煉　炭

(イ)　製　法

煉炭ハ生産者ニ依リ種々ナル名稱ヲ有ス、即チ穴明　穴開　穴印　孔明　蓮炭等牧擧ニ遑ナク之レカ製法ニ二種アリ一ツハ手工的製法一ツハ機械的製法ニシテ手工的製法トハ一般家庭又ハ農家ニ於テ副業的ニ製造スル方法ヲ云ヒ機械的製法トハ會社組織或ハ個人經營ニ依ル工場ニテ諸種ノ機械ヲ設備シ多量生産ヲ爲スモノナリ。

手工的製法、　手工的製法ハ、無焰炭粉十六貫ニ對シ粘土(六、七寸煉炭ニハ一貫五百匁四寸煉炭ニハ一貫匁三寸煉炭四百匁)ト石灰五百匁、糊粉二百匁ノ割合ヲ以テ充分混捏シ之レヲ製造型ニテ壓搾シ乾燥セシム。

製造型ハ次圖ノ如キモノニシテ鐵製側ト砲金製側トアリ又寸法ハ三寸用四寸用五寸用六寸用七寸用等ノ種類アリ。

最初(ハ)ノ輪胴ニ原料ヲ詰メ込ミ底部ヨリ(イ)ノ棒立盤ヲ押入レ(ロ)ナル穴明盤ヲ(イ)盤ノ棒(ハ)ノ穴トニ合セ蓋ヲ爲ス(ニ)ニテ上方ヨリ(ホ)ノ如ク壓搾シテ(ロ)(ハ)(ニ)ヲ取レハ(ヘ)ノ如ク煉炭ヲ製シ得。

機械的製法、機械製ニヨル煉炭ハ會社又ハ個人ノ資本關係ニ依リ工場ノ大小設備ノ整理及生産能率ニ差異アリ。

動力裝置、(イ)電動機、(ロ)蒸氣動力(蒸氣機關)(ニ)人力

粉碎機、(イ)上方ヨリ原料炭ヲ落下セシムル裝置アリテ下部ニ粉碎機ヲ備ヘ自動的ニ粉碎物ヲ排出スル裝置アルモノ、

(ロ)米搗臼ノ杵ヲ動力ニテ連續的ニ原料炭ヲ搗キ粉碎セシムル裝置

(ハ)米搗臼ヲ足踏テ搗カ如キ方法

配合機(煉合機)粉碎セラレシ無煙炭粉ニ副原料タル石灰粘土糊粉等ヲ配合シ煉合ヲ自動的ニ行フ機械或ハ人力テ配合煉合ヲ行フモノ

壓搾機 前記煉合ラレタル原料ハ、一定ノ型ニ入レテ壓搾シ輪轉連續的ニ製出セラレ又徐々ニ製出セラル

乾燥室 乾燥室ヘ密閉セラレタル室ニテ蒸氣又ハ火力ニ依リ乾燥ヲ行フ

(ロ)生産費及用途

煉炭ノ生産費概要及其用途次ノ如シ

種目	單位	價格	
無煙炭	一噸	一七、〇〇〇	円
石灰	八貫(一〆匁一〇錢)	〇、八〇〇	
粘土	八貫(一〆匁一〇錢)	〇、八〇〇	
糊粉	三貫(一〆匁一円〇〇)	三、〇〇〇	
燃料費		〇、五〇〇	
製造工賃		二、〇〇〇	
包裝函繩代	一噸ヨリ三二函(八〆五百入)	八、〇〇〇	
荷造費	三二函分	〇、六四〇	
機械減損及動力費		一、七〇〇	
營業費		四、〇〇〇	
計		三八、四四〇	一貫ニ付一四錢
卸賣	一函ニ付一、四〇〇	四四、八〇〇	同 一六錢五厘
小賣	一函ニ付一、五〇〇	四八、〇〇〇	同 一七錢四厘

用途

家庭用火鉢

三寸又四寸煉炭

ストーブ用　暖爐用　五寸―七寸同
養蠶用、風呂焚用、製茶製絲用　五寸―七寸同

（二）豆炭

（イ）製法

豆炭トハ其原料無煙炭ナレ共モ、煉炭ト異ナリ副原料トシテ「立チ消」ヲ防止スル爲メ木粉炭或ハ煨炭高萩炭ノ如キ木質亞炭ヲ配合シ、粘着材料トシテ臺灣製糖會社製品糖密ヲ配合シ着火ヲ良好ニスル爲メ知利硝石ヲ混用ス、是等副原料ノ混合割合ハ、無煙炭一〇〇貫ニ對スル混合割合ヲ示セハ大體次ノ如シ

無煙炭	一〇〇貫
木粉炭及木質亞炭	二〇貫
智利硝石	三貫
粘土	三貫
糖密	一貫

製造裝置及製造ノ順序次ノ如シ

動力裝置　蒸氣機

揚炭機　原料無煙炭ヲ高所ニ揚クル裝置

粉砕機　揚炭機ニヨリテ高所ニ揚ゲタル原料炭ハ粉砕機ニ送炭セラレ粉砕セラル

配合機　粉砕セラレタル無煙炭粉ハ配合機ニ前項記載ノ副原料ト配合セラル

混和機　混和機ニ依リ充分混合セラル

豆炭機　混和セラレタル原料ハ豆炭機ナル型作リ機械ニヨリ豆形ニ型製セラル

螺旋送炭機

横式蒸燒爐

螺旋送炭機トハ「エスカレーター」ノ如ク徐々ニ次ノ横式蒸燒爐ヲ通過ス

横式蒸燒爐トハ長サ十四、五間巾三尺高サ五尺、内部室室トナレル煉瓦積ノ一端ニ焚口アリテ、所々ノ外壁ニ空氣孔ヲ有シ、内部ニハ螺旋送炭機ガ通過スル如ク裝置ス、送炭機ニヨリ送ラル、豆形煉炭ハ此蒸燒爐ヲ通過中赫熱化セラレ一端ヨリ現ルレハ直ニ消粉（木炭粉）ニ依リ消火セラレ製品トナル

（ロ）生産費及用途

種目	單位	金額	
原料無煙炭	一噸ニ付	一七、〇〇〇	円
補助原料	硝石八貫 木炭粉三四貫 糖密三貫 粘土八貫	五、九〇〇 二、〇〇〇 四、〇〇〇	
燃料費		二、九〇〇	
工賃		〇、九〇〇	
包裝荷造費	包裝用叭三二叭繩共五錢 荷造費一叭ニ付一圓六十錢	四、〇〇〇	
修理費			
營業費			

計	一叭（八貫五百入）一圓一五錢			
卸賣	一叭	一圓四〇錢	四四、八〇〇	同　十六錢五厘
小賣	一叭	一圓五〇錢	四八、〇〇〇	同　十七錢四厘

一般家庭用　炊事　湯沸シ　風呂　火鉢　炬燵用
工業用　養蠶製絲用各種ノ乾燥用

（三）千歳炭

（イ）製法

千歳炭ハ無煙炭ノ外ニ、天然木炭、石灰、智利硝石ヲ配合シ棒狀ニ固メ低溫乾餾ヲ爲スモノナリ。
原料ト副原料ト配合ノ割合ハ無煙炭粉五割天炭粉三割ピツチ一割五分石灰及硝石五分ノ割合ナリ。
製造裝置及製法ノ順序次ノ如シ

粉碎機ニ無煙炭及天炭ヲ粉碎セシム
煉合機　粉碎セラレシ無煙炭粉、天炭粉、ピツチ、智利硝石等ノ諸原料ヲ煉合ス。
製型機　煉合セラレタル原料廻轉式製型機ニテ壓縮製型ス、
蒸燒竈　鐵板製ナル四方六尺四角ノ外壁竈ノ前面ニ鐵板開閉戸アリ側壁ノ上部ニ直徑一寸程度ノ小孔五六寸毎ニ開孔ス前面開戸ノ下部ニ焚口ヲ有シ、外壁竈ノ內部ニハ四方五尺四角形ノ內壁竈アリ內部ニ六七段ノ棚ヲ有シ前面ニ開閉戸ヲ有ス、製型セラレシ原料ハ內壁竈ノ棚ノ上ニ列ベラル、而テ內壁竈ノ開閉戸ヲ密閉シ更ニ外壁竈ノ開閉戸モ密閉シ下部焚口ヨリ點火セシメル時外壁竈ノ上部ノ小孔ヨリ煙ヲ出シテ漸次內部赫熱スルニ及ヒ焚口煙出シ小孔ヲ粘土ヲ以テ密閉ス斯クテ漸次竈ノ冷却スルニ及ヒ竈ヲ開キ製品ヲ取出スモノトス

（ロ）生產費及用途

種目	單位	金額
無煙炭	一〇〇貫	六、三〇〇
天炭	六〇貫	三、〇〇〇
ピツチ	三〇貫	二、〇〇〇
石灰及硝石	一〇貫	〇、六〇〇
製造工賃		五、〇〇〇
俵裝費	俵繩一俵一五俵分	一、五〇〇
荷造費	一俵ニ付　五錢	〇、七五〇
修繕動力費		一、二〇〇
營業費		一、五〇〇
計	一俵　一圓四五錢	二一、八五〇
卸賣	一俵　一圓五〇錢	二二、五〇〇

千歳炭ハ特種ノ蒸燒竈ニテ低溫乾餾ヲ行フモノナレハ火力强ク保火長ク無煙無臭ノ評アリ（一般家庭用並ニ工業用ニ

適ス）

二　石炭ヲ主原料トスル代用木炭

（一）文化炭

（イ）製法

文化炭ハ大阪乾餾工業株式會社カ專ラ製造シツヽアルモノニシテ有焰炭ヲ「ドザー式」低溫乾餾裝置ニ依テ四〇〇度以下ノ低溫乾餾ヲ行ヒ排煙ハコンデンサー（冷却機）タールセパレエター（タール分離機）ヲ通過セシメテ副生品トシテ各種ノ油「タール」ヲ一、…二%ヲ製シ瓦斯ハ平均一噸「五〇〇〇」封度是ハ再乾餾ノ燃料ニ使用セラルヽ、製品ノ歩止ハ約七〇%ニシテ原料一噸當約二百貫ヲ得ルモ内一五%ハ不完全品ニシテ再製原料トナリ結局百七十貫内外ノ製品ヲ生産セラル

（ロ）生産費及用途

種目	單位	價格	格
原料石炭	一噸	一六、八〇〇	円
工場搬入費		三、〇〇〇	
乾餾用燒料		四、〇〇〇	
俵裝費		一、九五〇	
		〇、九〇〇	
繩代及結束費		二、五〇〇	
營業費		一、〇〇〇	
雜費			

製品一五〇貫一俵（一〇〇貫入）俵一三錢一五俵分一俵ニ付二錢五厘
結束一俵ニ付三錢五厘

文化炭生産	一七〇貫生産	三〇、一五〇
原油生産	五斗生産	三七、二〇〇
小計		八、〇〇〇
賣卸	文化炭一七〇貫 原油五斗	文化炭一〆一七錢七厘 文化炭一〆二二錢 原油一斗一圓六〇

用途、一般家庭用、ストウブ用、工業用

（二）文化切炭

（イ）製法

文化切炭（一名文化豆炭）ハ文化炭ト同シク大阪乾餾工業株式會社ニ於テ製造シツヽアル所ノモノニシテ石炭ヲ粉抹ニ粉碎シ「ピツチ」ト混合シ煉合セ製整機ニ依リ豆形トナシ文化炭ト同樣「ドザー式」乾餾竈ニ依テ低溫乾餾ヲ行フモノナリ

一噸當原料ヨリ約二〇〇貫ノ製品ヲ得ルモ内約一五%ハ不完全品ニシテ再製原料ナリ結局百七十貫内外ノ製品ヲ生産セラルヽモノトス

（ロ）生産費及用途

種目	單位	金額
石炭粉	一噸	一二、六〇〇
ピツチ	〇噸一八（三〇二斤）	四五、〇〇
原料工場搬入費		三、〇〇〇

煉炭工賃				
乾餾工賃				
乾餾用燃料				
俵裝費		製品一七〇貫一叺一三錢 一叺入一〇貫一七叺分		三、七〇〇
繩代及結束費		繩代一俵ニ付二錢五厘 三錢五厘		一、〇〇〇
營業費其他				四、〇〇〇
豆炭生産		一七〇貫生産		二、二一〇
原油生産		五斗生産		一、〇二〇
小計				四、五〇〇
卸賣	豆炭 一七〇〆 原油 五斗		三六、五三〇	豆炭 一貫 二一錢五厘
			四〇、八〇〇 八、〇〇〇	一貫 二四錢 一斗 一圓六〇

用途　家庭燃料、殊ニコンロ並火鉢用

（三）無灰炭

（イ）製法

無灰炭モ亦、大阪乾餾工業株式會社ニ於テ製造セラレ「ピツチ」ヲ蒸餾竈ニテ蒸餾セルモノニシテ蒸餾液ハ「ピツチオイル」トナリ、防腐劑原料トシテ別途ニ利用セラレ殘餾物トシテ殘レル「ピツチコークス」即ヶ無灰炭ナリ、一噸當リ原料ヨリ一八九貫ノ製品ヲ得約七%ノ歩止ナリ

（ロ）生産費及用途

種目	單位	價格		
ピツチ	一噸			
原料工場搬入費		二五、〇〇〇		
蒸餾用燃料		三、〇〇〇		
蒸餾工賃		八、〇〇〇		
俵裝費	製品一八九貫一叺一〇〆入 一俵一三錢二〇俵分	五、〇〇〇		
繩代及結束賃	繩代一俵二錢五厘 結束賃一俵三錢五厘	二、六〇〇		
營業費其他		一、二〇〇		
無灰炭生産	一八九貫	三、二五〇		
ピツチオイル	五斗			
小計		四八、〇五〇	無灰炭一貫ニ付二五錢三厘	
卸賣	無灰炭	五六、七〇〇	同	三〇錢
	ピツチオイル	八、〇〇〇	ピチオイル 一貫ニ付	一圓六〇

用途　一般家庭用、料理屋用、ストウブ用

三　木質亞炭ヲ主原料トスル代用木炭

（一）リグライト

（イ）製法

「リグライト」ノ原料ハ兵庫縣三原郡賀集村ニ產スル高萩炭ト稱スル木質亞炭ニシテ三谷龍三氏新工夫ニ係ル連續式低溫乾餾竈ニテ五〇〇度乃至六〇〇度以內ニ低溫乾餾セルモノナリ、製品ノ歩止ハ約六〇%ニシテ原料一噸ヨリ一六二貫ノ品ヲ得。

（ロ）生產費及用途

種目	單位	價格	
原料炭工場搬入費共	一噸ニ付	一八、〇〇〇	円
燃料費	原料炭ノ二	三、六二〇	
乾餾費	一日五千斤	六、七五〇	
包裝費	二〇圓ノ計算ナリ	六、七五〇	
營業費其他	六〆入箱二七箱	五、〇〇〇	
小計	一箱二五錢	四〇、一二〇	
工場渡卸賣		四八、六〇〇	
用途 一般家庭用		一貫ニ付二四錢七	
		同 三〇錢	

四 鋸屑ヲ主原料トスル代用木炭

（一）末廣炭

（イ）製法

末廣炭トハ近時靜岡縣淸水市ニ於テ北洋材入荷激增ニ伴ヒ製材工場ノ增設ヲ見ルニ及ヒ之レカ鋸屑ノ利用ヲ目的トシテ考案セラレタルモノニシテ一種ノ乾餾竈ニ依テ鋸屑ヲ乾餾シ木炭粉ヲ製シ之レヲ粉碎機ニ掛ケ微細ナル粉抹トナシ次テ煉合機ニ移シ「スモク」ト稱スル海草糊、石灰洋チヤン、硅酸土、等ノ溶液ト共ニ原料煉合セ、製型機ニ依リ木炭形ニ押シ出シ乾燥スルモノナリ、

七〇〇貫ニ對シ製品二三〇貫即チ歩止ハ三〇%ナリ、

（ロ）生產費及用途用

種目	單位	金額	
原料鋸屑	一〇〇俵	五、〇〇〇	円
補助原料すもく海草糊	一俵（七貫入）	八、〇〇〇	
同石灰	一〇〇貫	〇、四〇〇	
洋チヤン硅酸土	一〇貫	二、〇〇〇	
燃料（挽粉）	二〇貫	〇、七〇〇	
製造工賃	一〇俵	八、四五〇	
包裝費	五〆箱四六箱	六、九〇〇	
荷造費	箱代一個一五錢	四、六〇〇	
營業費其他	一箱一〇錢	六、〇〇〇	
小計	製品二三〇貫	四二、〇五〇	
		一貫當一八錢三	

附錄

賣	卸
一貫當二五錢〇	五七、五〇〇

用途一般木炭代用品トシテ需要アリ

第一表　府縣別代用木炭生產量

府縣	無焰炭ヲ主原料トスル代用木炭 名稱	數量（〆）	價額（円）	石炭ヲ主原料トスル代用木炭 名稱	數量（〆）	價額（円）	木質亞炭ヲ主原料トスル代用木炭 名稱	數量（〆）	價額（円）	木炭粉雜木草炭鋸屑ヲ主原料トスル代用木炭 名稱	數量（〆）	價額（円）	計 數量（〆）	計 價額（円）
青森		—	—		—	—		—	—	煉炭（小形製）	一八〇、〇〇〇	六五、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	六五、〇〇〇
宮城	煉炭	七三、二〇〇	一三、一三五		—	—	亞炭炭	一、〇〇〇	二五〇		—	—	七三、二〇〇	一三、三七五
秋田	同	一八七、九二〇	二一、六〇〇		—	—		—	—		—	—	一八七、九二〇	二一、六〇〇
茨城	同	一、八八四、〇〇〇	三四四、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	一、八八四、〇〇〇	三四四、〇〇〇
栃木	同	一、八四〇、〇〇〇	二四〇、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	一、八四〇、〇〇〇	二四〇、〇〇〇
群馬	同	七〇四、〇〇〇	一一三、七六〇		—	—		—	—		—	—	七〇四、〇〇〇	一一三、七六〇
埼玉	同	一七四、〇〇〇	三一、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	一七四、〇〇〇	三一、〇〇〇
東京	同	九四五、〇〇〇	一七六、八五〇		—	—		—	—		—	—	—	—
東京	豆炭	八一〇、〇〇〇	一五三、九〇〇		—	—		—	—		—	—	—	—
東京	小計	一、七五五、〇〇〇	三三〇、七五〇		—	—		—	—		—	—	一、七五五、〇〇〇	三三〇、七五〇
神奈川	煉炭	五〇〇、〇〇〇	七二、五〇〇		—	—		—	—		—	—	五〇〇、〇〇〇	七二、五〇〇
富山	同	三〇六、〇〇〇	七九、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	三〇六、〇〇〇	七九、〇〇〇
石川		—	—	玉炭	一、三五〇、〇〇〇	一八五、〇〇〇	⑧煉炭	九〇〇、〇〇〇	二七〇、〇〇〇		—	—	二、二五〇、〇〇〇	四五五、〇〇〇
福井	同	八三、〇〇〇	九、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	八三、〇〇〇	九、〇〇〇
山梨	同	一三七、〇〇〇	一六、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	一三七、〇〇〇	一六、〇〇〇
長野	同	三七三、一七三	一二五、一一三	シンダー炭	二一、八二八	七、八八八		—	—	丸玉煉炭	八、〇〇〇	三、〇〇〇	四〇三、〇〇〇	一三六、〇〇〇
岐阜	同	二、八二三、一〇〇	六八四、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	二、八二三、〇〇〇	六八四、〇〇〇
靜岡		—	—		—	—		—	—	末廣炭	三六〇、〇〇〇	九七、二〇〇	三六〇、〇〇〇	九七、二〇〇
愛知	同	五、九一三、〇〇〇	一、〇一三、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	五、九一三、〇〇〇	一、〇一三、〇〇〇
三重	同	一、三六〇、〇〇〇	一四五、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	一、三六〇、〇〇〇	一四五、〇〇〇
滋賀	同	九九〇、〇〇〇	一三三、七五〇		—	—		—	—		—	—	九九〇、〇〇〇	一三三、七五〇
京都	同	七〇二、五〇〇	一三三、七三五		—	—		—	—		—	—	—	—
京都	豆炭	二三九、五〇〇	五二、七八五		—	—		—	—		—	—	—	—
京都	小計	九三二、〇〇〇	一七六、五二〇		—	—		—	—		—	—	九三二、〇〇〇	一七六、五二〇
大阪	煉炭	三、五九五、五三四	六六六、三七四	製炭	一、三四四、〇〇〇	三三六、〇〇〇		—	—		—	—	—	—
大阪	豆炭	四、八三六、九三三	八八九、五四〇	文化炭	五三四、〇〇〇	一三三、六五〇		—	—		—	—	—	—
大阪	千歲炭	一一〇、〇〇〇	三九、六〇〇	文化切炭	一、二六三、〇〇〇	三一五、八〇〇		—	—		—	—	—	—
大阪		—	—	無灰炭	四八八、八〇〇	七一六、〇八〇		—	—		—	—	—	—
大阪	小計	八、五四二、四六七	一、五九五、五一四	小計	三、六三一、〇〇〇	八五六、〇三〇		—	—		—	—	一二、一七三、四六七	二、四五一、五四四
兵庫	煉炭	七七二、九六〇	一五六、〇〇〇		—	—	リグライ	一六二、〇〇〇	七五、六五四		—	—	—	—
兵庫	握炭	一五二、〇〇〇	三〇、四〇〇		—	—		—	—		—	—	—	—
兵庫	小計	九二四、九六〇	一八六、四〇〇		—	—		一六二、〇〇〇	七五、六五四		—	—	一、〇八六、九六〇	二六二、〇五四
奈良	煉炭	一九八、〇〇〇	四四、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	一九八、〇〇〇	四四、〇〇〇
鳥取	同	一四四、六〇〇	一二、三六〇		—	—		—	—		—	—	一四四、六〇〇	一二、三六〇
島根	同	六四九、〇〇〇	七一、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	六四九、〇〇〇	七一、〇〇〇
岡山	同	三七三、七六〇	三六、七〇〇		—	—		—	—		—	—	三七三、七六〇	三六、七〇〇
廣島	大角炭	—	—		—	—		—	—		—	—	—	—
廣島	握炭	一〇、八〇〇	二、二四〇		—	—		—	—		—	—	—	—
廣島	煉炭	六一〇、二七一	五一、四二八		—	—		—	—		—	—	—	—
廣島	小計	六二一、〇七一	五三、六六八		—	—		—	—		—	—	六二一、〇七一	五三、六六八
山口	煉炭	一、五〇一、二〇〇	一七一、六三〇	製炭	一、九二〇、〇〇〇	二六八、〇〇〇		—	—		—	—	—	—
山口		—	—	寶炭	三三五、〇〇〇	五三、六〇〇		—	—		—	—	—	—
山口	小計	一、五〇一、二〇〇	一七一、六三〇		二、二五五、〇〇〇	三二一、四〇〇		—	—		—	—	三、七五六、二〇〇	四九四、〇三〇
德島	煉炭	一、六〇五、〇〇〇	二五〇、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	一、六〇五、〇〇〇	二五〇、〇〇〇
香川	煉炭	一、一九二、〇〇〇	三三五、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	一、一九二、〇〇〇	二三五、〇〇〇
愛媛	同	二六四、〇〇〇	三六、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	二六四、〇〇〇	八五、〇〇〇
福岡	同	二、一三六、八四四	三四三、四二〇	文化	四三八、〇〇〇	八五、〇〇〇		—	—		—	—	二、五七四、八四四	四二八、四二〇
佐賀	同	二、五九〇、〇〇〇	四六六、二〇〇		—	—		—	—		—	—	二、五九〇、〇〇〇	四六六、二〇〇
熊本	煉炭	四、四一三、〇〇〇	六七〇、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	四、四一三、〇〇〇	六七〇、〇〇〇
大分	同	二二五、〇〇〇	三九、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	二二五、〇〇〇	三九、〇〇〇
宮崎	同	一四、〇〇〇	一、〇〇〇		—	—		—	—		—	—	一四、〇〇〇	一、〇〇〇
鹿兒島	同	六〇、三三〇	九、三五〇		—	—		—	—		—	—	六〇、三三〇	九、三五〇
總計	計	四五、四七八、五二四	七、八六〇、三五九		七、六九五、八二八	一、五五六、九一六		一、〇六三、〇〇〇	三四五、九〇四		五四八、〇〇〇	一六五、二〇〇	五四、七八五、三四二	九、九二八、三八一
步合	%	八三、〇	七九、〇		一四、一	一六、〇		一、九	三、五		一、〇	一、五	100、	100、

第二表　府縣別代用木炭工場生産量

府縣	無焔炭粉ヲ主原料トスル代用木炭 數量	無焔炭粉ヲ主原料トスル代用木炭 價額	石炭ヲ主原料トスル代用木炭 數量	石炭ヲ主原料トスル代用木炭 價額	木質亞炭ヲ主原料トスル代用木炭 數量	木質亞炭ヲ主原料トスル代用木炭 價額	木炭粉雜木草炭鋸屑ヲ主原料トスル代用木炭 數量	木炭粉雜木草炭鋸屑ヲ主原料トスル代用木炭 價額	計 數量	計 價額
	〆	円	〆	円	〆	円	〆	円	〆	円
青森	—	—	—	—	—	—	—	—	180,000	65,000
岩手	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宮城	72,200	31,125	—	—	—	—	—	—	72,200	31,125
秋田	75,400	9,800	—	—	—	—	—	—	75,400	9,800
山形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
茨城	279,520	65,868	—	—	—	—	—	—	279,520	65,868
栃木	264,870	24,960	—	—	—	—	—	—	264,870	24,960
群馬	486,000	77,760	—	—	—	—	—	—	486,000	77,760
埼玉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
千葉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東京	1,755,000	330,750	—	—	—	—	—	—	1,755,000	330,750
神奈川	500,000	72,500	—	—	—	—	—	—	500,000	72,500
新潟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富山	193,750	44,500	—	—	—	—	—	—	193,750	44,500
石川	—	—	1,350,000	185,000	900,000	270,000	—	—	2,250,000	455,000
福井	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山梨	137,000	16,000	—	—	—	—	—	—	137,000	16,000
長野	270,550	52,500	21,828	7,888	—	—	8,000	3,000	300,378	63,388
岐阜	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
静岡	—	—	—	—	—	—	36,000	97,200	360,000	97,200
愛知	2,599,200	300,000	—	—	—	—	—	—	2,599,200	300,000
三重	159,000	32,050	—	—	—	—	—	—	159,000	32,050
滋賀	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
京都	699,000	32,779	—	—	—	—	—	—	699,000	32,779
大阪	8,542,467	1,595,514	3,631,000	956,630	—	—	—	—	12,173,467	2,552,144
兵庫	147,500	26,500	—	—	162,000	75,654	—	—	309,500	102,154
奈良	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和歌山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鳥取	144,600	13,360	—	—	—	—	—	—	144,600	13,360
島根	198,000	38,300	—	—	—	—	—	—	198,000	38,300
岡山	373,760	36,700	—	—	—	—	—	—	373,760	36,700
廣島	621,071	53,668	—	—	—	—	—	—	621,071	53,668
山口	67,200	6,720	2,255,000	332,400	—	—	—	—	2,322,200	339,120
徳島	151,200	6,850	—	—	—	—	—	—	151,200	6,850
香川	240,000	27,826	—	—	—	—	—	—	240,000	27,826
愛媛	102,000	13,623	—	—	—	—	—	—	102,000	13,623
高知	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福岡	197,000	22,950	438,000	85,000	—	—	—	—	—	—
佐賀	94,400	5,538	—	—	—	—	—	—	635,00	107,950
長崎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
熊本	1,208,300	100,450	—	—	—	—	—	—	1,208,300	100,450
大分	203,000	36,840	—	—	—	—	—	—	203,000	36,840
宮崎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿兒島	35,100	5,550	—	—	—	—	—	—	35,100	5,550
沖縄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	19,817,068	3,050,981	7,695,828	1,566,918	1,062,000	345,654	548,000	165,200	29,123,926	5,128,753
歩合	68%	60%	26%	3%	3%	7%	1%	3%	100	100

5
7

第三表 府縣別代用木炭家庭生產量

府縣	無焔炭粉ヲ主原料トスル代用木炭 數量	無焔炭粉ヲ主原料トスル代用木炭 價額	石炭ヲ主原料トスル代用木炭 數量	石炭ヲ主原料トスル代用木炭 價額	木質亞炭ヲ主原料トスル代用木炭 數量	木質亞炭ヲ主原料トスル代用木炭 價額	木炭粉雜木草炭鋸屑ヲ主原料トスル代用木炭 數量	木炭粉雜木草炭鋸屑ヲ主原料トスル代用木炭 價額	計 數量	計 價額
	〆	円	〆	円	〆	円	〆	円	〆	円
青森	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
岩手	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宮城	—	—	—	—	一、〇〇〇	三五〇	—	—	一、〇〇〇	三五〇
秋田	一三、五三〇	一八、八〇〇	—	—	—	—	—	—	一三、五三〇	一一、八〇〇
山形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
茨城	一、六四〇、四八〇	二七八、一三三	—	—	—	—	—	—	一、六四〇、四八〇	二七八、一三三
栃木	一、五七五、一三〇	二三五、〇四〇	—	—	—	—	—	—	一、五七五、一三〇	二三五、〇四〇
群馬	二一八、〇〇〇	三六、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	二一八、〇〇〇	三六、〇〇〇
埼玉	一七四、〇〇〇	三一、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	一七四、〇〇〇	三一、〇〇〇
千葉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東京	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
神奈川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新潟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富山	一一二、二五〇	三四、五〇〇	—	—	—	—	—	—	一一二、二五〇	三四、五〇〇
石川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福井	八三、〇〇〇	九、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	八三、〇〇〇	九、〇〇〇
山梨	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長野	一〇二、六三三	七三、六一三	—	—	—	—	—	—	一〇二、六三三	七三、六一三
岐阜	二、八三三、〇〇〇	六八四、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	二、八三三、〇〇〇	六八四、〇〇〇
靜岡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
愛知	三、三一一、八〇〇	七一三、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	三、三一一、八〇〇	七一三、〇〇〇
三重	一、一〇一、〇〇〇	一三三、九五〇	—	—	—	—	—	—	一、一〇一、〇〇〇	一三三、九五〇
滋賀	九九〇、〇〇〇	一二三、七五〇	—	—	—	—	—	—	九九〇、〇〇〇	一二三、七五〇
京都	二三三、〇〇〇	一四三、七四一	—	—	—	—	—	—	二三三、〇〇〇	一四三、七四一
大阪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兵庫	七七七、四六〇	一五九、九〇〇	—	—	—	—	—	—	七七七、四六〇	一五九、九〇〇
奈良	一九八、〇〇〇	四四、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	一九八、〇〇〇	四四、〇〇〇
和歌山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鳥取	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島根	四五一、〇〇〇	三一、七〇〇	—	—	—	—	—	—	四五一、〇〇〇	三一、七〇〇
岡山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廣島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山口	一、四三四、〇〇〇	一六四、九一〇	—	—	—	—	—	—	一、四三四、〇〇〇	一六四、九一〇
徳島	一、四五三、八〇〇	二四三、一五〇	—	—	—	—	—	—	一、四五三、八〇〇	二四三、一五〇
香川	九五三、〇〇〇	三〇七、一七四	—	—	—	—	—	—	九五三、〇〇〇	三〇七、一七四
愛媛	一六三、〇〇〇	二三、三七七	—	—	—	—	—	—	一六三、〇〇〇	二三、三七七
高知	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福岡	一、九三九、八四四	三三〇、四七〇	—	—	—	—	—	—	一、九三九、八四四	三三〇、四七〇
佐賀	二、四九五、六〇〇	四六〇、六六二	—	—	—	—	—	—	二、四九五、六〇〇	四六〇、六六二
長崎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
熊本	三、二〇四、七〇〇	五六九、五五〇	—	—	—	—	—	—	三、二〇四、七〇〇	五六九、五五〇
大分	一三、〇〇〇	二、一六〇	—	—	—	—	—	—	一三、〇〇〇	二、一六〇
宮崎	一四、〇〇〇	一、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	一四、〇〇〇	一、〇〇〇
鹿兒島	二五、〇〇〇	三、八〇〇	—	—	—	—	—	—	二五、二三〇	三、八〇〇
沖繩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	二五、六六一、四二六	四、八〇九、三七八			一、〇〇〇	三五〇			二五、六六二、四二六	四、八〇九、六二八
歩合	100%	100%			0%	0%			100%	100%

第四表

代用木炭製造工場一覽表

一、無焰炭ヲ主原料トスルモノ

府縣	會社又工場名	所在地	資本金	設立年月日	工場數	同上建坪	動力種類	馬力數	職工數 男	職工數 女	職工數 計	主要原料年消費額	製品年生產額
宮城	增澤煉炭商店	仙臺市北五番町二七	一、五〇〇円	大正十二年五月	一	五三	—	—	一	—	一	五、四〇〇貫	五、四〇〇貫
	石卷煉炭所	石卷町新田町鑛鐵場	二、〇〇〇	大正十四年四月	一	五〇	—	—	三	一	四	一三、五〇〇	一三、五〇〇
	亘理蠶種冷藏株式會社	亘理郡亘理町字中町一	五、〇〇〇	大正十三年五月	一	三〇〇	—	—	四	—	四	四八、〇〇〇	四〇、五〇〇
	松尾煉炭製造所	名取郡岩沼町	二、〇〇〇	大正十四年	一	二〇	—	—	二	—	二	一八、九〇〇	一二、八〇〇
計			一〇、五〇〇		四	四三	—	—	九	一	一〇	八五、八〇〇	七二、二〇〇
秋田	扇田煉炭株式會社	北秋田郡扇田町	一四、〇〇〇	大正九年	一	一九二	—	—	五	—	五	五八、〇〇〇	五八、〇〇〇
	小笠原煉炭所	同上	不明	同	一	三三	—	—	二	二	四	一七、四〇〇	一七、四〇〇
	武田信助工場	同上	一四、〇〇〇	同	一	五	—	—	二	二	四	七五、四〇〇	—
計					三	二二九	—	—	九	二	一一	七五、四〇〇	七五、四〇〇
茨城	おかめ印炭煉三協商會	水戸市大字下市一ノ町	一、三〇〇	大正十四年七月	一	一四	—	—	二	一	三	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇
	水戸煉炭谷貝工場	水戸市大字上市奈良屋町	八〇〇	大正十四年七月	一	一〇	—	—	一	一	二	一一、五二〇	一一、五二〇
	煉炭製造工場	新治郡眞鍋町大字眞鍋字一四	一、五〇〇	大正十三年三月	一	一七	—	—	二	三	三	一九八、〇〇〇	一九八、〇〇〇
計			三、六〇〇		三	四一	—	—	五	六	八	二七九、五二〇	二七九、五二〇

府縣	會社又工場名	所在地	資本金	設立年月日	工場數	同上建坪	動力種類	馬力數	職工數 男	女	計	主要原料年消費額	製品年生產額
栃木	株式會社宇陽煉炭商會	宇都宮市西原町	八、〇〇〇 円	大正十三年三月	一	四五	—	—	三	—	三	九四、五〇〇	八九、九一〇
	佐野煉炭所	安蘇郡佐野町字若松町	二、五〇〇	大正十二年五月	一	一五	—	—	二	—	二	九七、二〇〇	一七四、九六〇
	計		一〇、五〇〇		二	六〇			五	—	五	一九一、四〇〇	二六四、八七〇
群馬	山崎煉炭所	群馬縣高崎市	—	明治四十三年	一	二〇〇	電動機	五	—	—	—	五四〇、〇〇〇	四八六、〇〇〇
東京	玉文商會鐘淵煉炭所	東京市京橋區本八丁堀六	二〇〇、〇〇〇	大正十二年十月	一	四〇〇	電動機	三五四〇	四〇	—	四〇	八一〇、〇〇〇	八一〇、〇〇〇
	三笠工業株式會社	南足立郡千住町千住三丁目四一五	大正十一年八月	一	一〇〇	電動機	五	—	五	—	五	一三五、〇〇〇	一三五、一〇〇
	服部煉炭製造所	本社若松市東京工場澁谷町上澁谷二四一五	三〇、〇〇〇	大正十三年	一	六三	電動機	七、五	一三	—	一三	八一〇、〇〇〇	八一〇、〇〇〇
	計	南葛飾郡大島町一ノ二	二三〇、〇〇〇		三	五六三		四七、五	一三	—	一三	一、七五五、〇〇〇	一、七五五、一〇〇
神奈川	東亞煉炭株式會社	愛甲郡厚木町旭町	二五〇、〇〇〇	大正八年四月	四	二三〇	電動機	一〇	—	一〇	一〇	五四〇、〇〇〇	五四〇、〇〇〇
	第一分工場	高座郡相原村橋本	大正十一年四月										
	第二分工場	中郡平塚町須賀通	大正十一年八月										
	第三分工場	高座郡澁谷村長後	大正十二年十一月										
	藤澤煉炭所	高座郡藤澤町目出町	八、〇〇〇	大正十年	一	四二	電動機	二	—	二	二	五九、九五〇	五〇、〇〇〇

府縣	會社又工場名	所在地	資本金	設立年月日	工場數	同上建坪	動力種類	馬力數	職工數 男	女	計	主要原料年消費額	製品年生產額
富山	富山煉炭株式會社	上新川郡上室村清水	一五、〇〇〇	大正十三年十月七日	一	八八	電動機	五	—	—	—	一三五、〇〇〇	一二七、七五〇
	高岡燃料株式會社	射水郡横田村横田	五〇、〇〇〇	大正十年十月	一	六〇	電動機	四	—	—	—	八八、〇〇〇	六六、〇〇〇
	計		六五、〇〇〇		二	一四八		五	—	—	—	二二三、〇〇〇	一九三、七五〇
山梨	甲府煉炭株式會社	甲府市豐町	五〇、〇〇〇	大正十四年一月	一	八〇	—	—	—	—	—	一三五、〇〇〇	一二七、〇〇〇
	介炭製造所	甲府市橋町	—	大正六年	一	二〇〇	水車	二	四	—	四		
	甲府燃料商會	同穴切町	五〇、〇〇〇	大正十四年七月	一	一五	—	—	—	—	—		
	計				三	二九五		二	四	—	四		
長野	松本煉炭株式會社	松本市長澤町九八五	五〇、〇〇〇	大正十二年	一	一三六	電動機	一〇	五	—	五	九一、三五〇	二四〇、〇〇〇
	中村煉炭製造會社	諏訪郡下諏訪町字四五、二一七五	二、五〇〇	大正十二年九月	一	一〇	—	四	—	四	四	二五、五〇〇	三〇、五五〇
	武居煉炭製造工所	同 三、一九〇	五〇〇		一	一三	—	二	—	二	二		
	計		五三、〇〇〇		三	一六八		一〇	一一	—	一一	一一六、八五〇	二七〇、五五〇
愛知	名古屋煉炭株式會社	名古屋市西區江西町三丁目七	三〇、〇〇〇	大正十一年	一	一八五	電動機	一〇	一八		一八	二、五九九、二〇〇	二、五九九、二〇〇
三重	森煉炭製造所	四日市四ッ谷	—	大正十三年	一	三三	電動機	一	四	—	四	五六、〇〇〇	六一、〇〇〇
	富士商會煉炭工場	飯南郡松坂町殿町	大正十四年二月		二	四六	—	—	三	—	三	八〇、〇〇〇	六三、〇〇〇

府縣	會社又工場名	所在地	資本金	設立年月日	工場數	同上建坪	動力種類	馬力數	職工數 男	職工數 女	職工數 計	主要原料年消費額	製品年生產額
			円										
計													
京都	大同煉炭株式會社	大阪市港區鶴町一	一〇、〇〇〇	大正十一年二月	一	八〇	電動機	五	八	—	八	四五九、〇〇〇	四五九、〇〇〇
	大同煉炭工場	京都市千本通三條下ル朱雀町	一〇、〇〇〇	大正七年	一	一二〇	電動機	五	一〇	—	一〇	二四〇、〇〇〇	二四〇、〇〇〇
	京都煉炭合資會社	京都市上京區聚樂廻中町四八	二〇、〇〇〇		二	二〇〇		一〇	一八	—	一八	六九、〇〇〇	六九、〇〇〇
計			五〇〇、〇〇〇	大正十二年七月	一	一四一	電動機	二七二	二一	—	二一	二、七六〇、四六〇	二、四六五、四六七
大阪	大同煉炭株式會社	大阪市港區鶴町一	一〇〇、〇〇〇	大正十年三月	一	二九六	蒸汽式機關	一〇一〇	一〇	—	一〇	一、三八五、〇〇〇	一、一五三、一〇〇
	川澄煉炭株式會社	大阪市港區福町二ノ四三											
	湯淺煉炭所	大阪市北區東野田町六ノ八九	—	大正七年	一	二〇〇	電動機	一〇三	一三	—	一三	一、三五〇、〇〇〇	一、一九六、〇〇〇
	山崎煉炭所	大阪市西淀川浦江町四七六		明治四十三年	一	二〇〇	電動機	三五	三五	—	三五	一、〇八〇、〇〇〇	九七二、〇〇〇
	合資會社正直商店	大阪市北區新喜多町三三七		大正十二年	一	七〇	電動機	一〇	七	—	七	五四〇、〇〇〇	四八六、〇〇〇
	全商會株式會社	大阪市港區石田町一ノ一	一五〇、〇〇〇月	大正十二年十二月	一	二五〇	電動機	四七半	一四	—	一四	一、六二〇、〇〇〇	一、六八四、八〇〇
	大阪製炭合資會社	大阪市港區松ノ町五ノ七	三、五〇〇、〇〇〇月	大正十三年十一月	一	一〇〇	電動機	七、五二	二	—	二	一〇〇、〇〇〇	一一〇、〇〇〇
			七七二、五〇〇		七	一、五七〇		二〇五八一	八一	—	八二	八、八三五、四六〇	八、五四二、四七六

兵庫	伊勢畑合資會社	神戸市茅原通二丁目七番地	七、五〇〇	大正元年十二月	一	九五	電動機	三	三	二	五	一九二、〇〇〇	一四七、五〇〇
鳥取	樋田煉炭所	西伯郡米子町	一〇、〇〇〇	大正十四年七月	一	一二〇	—	—					
	馬場煉炭製造所	鳥取市吉方	三、〇〇〇	大正十四年五月	一	一五	—	—					
計			一三、〇〇〇		二	一三五			七	二	七	二一八、七〇〇	一四七、五〇〇
島根	國益煉炭株式會社	今市町	五〇、〇〇〇	大正十三年一月	一	—		—					
	知井宮工場	知井宮村大字知井宮	一、五〇〇	大正十年九月	二	二二	電動機	二	二	二	四	一六〇、〇〇〇	一六、〇〇〇
	關西煉炭株式會社	本郷	五、〇〇〇	大正十四年四月	一	二二	電動機	二	二	二	四	一九五、一〇〇	一三、〇〇〇
	戸津川煉炭所	松江市寺町二〇四	五六、五〇〇		四	二二	電動機	四	二	二	四	一九五、一〇〇	一九八、〇〇〇
		濱田町大字片庭							四	二	六		
計			五七、〇〇〇		七	三四〇			四	二	六	一九五、一〇〇	一九八、〇〇〇
岡山	吉川セメント會社	上道郡平井村大字平井	三〇、〇〇〇	大正十三年十月	一	一四〇	電動機	二〇	一〇	四	一四	二八八、〇〇〇	二九三、七六〇
	旭煉炭製造所	岡山市上伊福十八	七、〇〇〇	大正十一年	一	二〇〇	電動機	二	八	二	一〇	八〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇
計			三七、〇〇〇		二	三四〇		二二	一八	六	二四	三六八、〇〇〇	三七三、七六〇
廣島	合資會社中國煉炭所	廣島市南竹屋町二一九ノ二	一、五〇〇	大正十一年	一	一五	電動機	二				一六、〇〇〇	一六、〇〇〇
	合名會社服部商會	廣島市三川町三四	六、八〇〇	大正十四年	一	一一〇	電動機	三一三	三	一	四	一九一、〇〇〇	一九一、〇〇〇
	釘本煉炭製造所	廣島市吉島町	三、〇〇〇	大正八年八月	一	六〇	電動機	一三	四	一	五	八〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇
	御幸錬炭鑛業株式會社	廣島市皆實町三三九	五〇、〇〇〇	大正十一年	一	四三	電動機	六			六	三八、四〇〇	三八、四〇〇

府縣	會社又工場名	所在地	資本金	設立年月日	工場數	同上建坪	動力種類	馬力數	職工數 男	職工數 女	職工數 計	原料年消費額	製品年生産額
	木村煉炭工場	吳市岩方通二丁目	―	―	一	二〇	電動機	三	四		四	一〇,八〇〇	一〇,八〇〇
	中燊煉炭所	佐伯郡玖波町字中江	二,〇〇〇	大正十年八月	一	一五	電動機	一	一	一	二	二四,〇〇〇	二四,〇〇〇
	倉本製炭所	佐伯郡三篠町大字楠木	二,〇〇〇	明治三十五年	一	三八	電動機	二	四		四	六四,九七一	六四,九七一
	三篠煉炭所	佐伯郡三篠町大字新庄	五,〇〇〇	大正十一年五月	一	四三	電動機	三	四		四	六五,〇〇〇	六五,〇〇〇
	合資會社横川煉炭所	佐伯郡三篠町大字楠木	四,〇〇〇	大正十四年五月	一	三〇	電動機	二	五		五	八,四〇〇	八,四〇〇
	大館煉炭所	御調郡三原町二、二三五	一,〇〇〇	大正十三年七月	一	二五	電動機	一	一		一	七,二〇〇	七,二〇〇
	平澤煉炭工場	御調郡三原町東新町	一,〇〇〇	大正十四年五月	一	九	―	―	一	一	二	六,三〇〇	六,三〇〇
	高竹煉炭製造所	御調郡向島東町	三,〇〇〇	大正十三年一月	一	四〇	電動機	二	四		四	一〇八,〇〇〇	一〇八,〇〇〇
	計		一九,三〇〇		三	四五六		二六	四七	二	四九	六三二,〇七一	六三二,〇七一
山口	藤本煉炭製造所	厚狹郡小野田町大字西ノ濱	二,五〇〇	大正十年	一	一五〇	―	―	三	五	八	七五,六〇〇	六七,二〇〇
德島	合名會社大嶺無煙炭商會	德島市出來島町	一〇,〇〇〇	大正十二年一月	一	一五	電動機	五	五		五	一三八,〇〇〇	一三八,〇〇〇
	德島無煙炭株式會社	鴨島町鴨島字宮地五三七	一〇,〇〇〇	大正十四年二月	三	四五	電動機		二		二	一七,六〇〇	一七,六〇〇
	三友商會	小松島町大字小松島字外開	五,〇〇〇	大正十四年十一月	一	二三	―	―	三		三	五,六〇〇	五,六〇〇
	計		二五,〇〇〇		五	八三		五	一〇		一〇	一五一,二〇〇	一五一,二〇〇
香川	横井惣太	木田郡平井町大字池戸二三二一	三〇〇	大正十年三月	一		―	―	―	―	―	一六,〇〇〇	一六,〇〇〇
	大西煉炭製造所	三豐郡觀音寺町大字觀音寺	五,〇〇〇	大正十一年四月	一	五七	電動機	一	五		五	四三,二〇〇	四三,二〇〇
	大西煉炭製造所	三谷郡笠田村大字笠岡	五〇〇		一	二〇	―	―	―		―	八,〇〇〇	八,〇〇〇
	山口煉炭製造所	高松市西濱町四一一	二〇,〇〇〇	大正九年六月	一	七〇	電動機	一〇	四	一〇	一四	一七一,二〇〇	一七一,二〇〇
	高松タドン株式會社	高松市西濱新町二七四	三〇,〇〇〇	大正十一年十月	一	三五	電動機	三	五	四	九	一,六〇〇	一,六〇〇
	計		五五,八〇〇		五	一八二		一四	一四	一四	二八	二四〇,〇〇〇	二四〇,〇〇〇
愛媛	浦中煉炭所	八幡町三一二	一〇,〇〇〇	大正十一年三月	一	一五〇	―	―	一		一	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
	松原正一	今治市通町	四,〇〇〇	大正十三年四月	一	二五	電動機	二	二		二	二四,〇〇〇	二四,〇〇〇
	武田仲造	今治市大字新町	五,〇〇〇	大正十二年四月	一	三三	―	―	二		二	四八,〇〇〇	四八,〇〇〇
	計		一九,〇〇〇		三	二〇八		二	五		五	一〇二,〇〇〇	一〇二,〇〇〇
福岡	三笠工業株式會社	若松市本町二ノ六〇	一〇〇,〇〇〇	大正十一年八月									
	戸畑工場	戸畑市築地町三丁目			一	二〇八	電動機	一五馬力	三		三	一三二,〇〇〇	一三二,〇〇〇
	東京工場	澁谷町上澁谷二四一五	東京府ノ欄ニ記入セシニ付キ省略										
	博多工場	福岡市出來町			一	六〇	電動機	五馬力	五		五	四二,〇〇〇	四二,〇〇〇
	甘木工場	棚倉郡甘木町二〇			一	三〇	―	―	二		二	二三,〇〇〇	二三,〇〇〇
	大分工場	大分市蓬來橋詰	大分縣ノ欄ニ記入セシニ付キ省略										
	別府工場	別府市南町											
	計		一〇〇,〇〇		三	二九八		二〇	一九		一九	一九七,〇〇〇	一九七,〇〇〇

府縣	會社又ハ工場名	所在地	資本金	設立年月日	工場數	同上建坪	動力種類	馬力數	職工男女計	主要原料年消費額	製品年生産額
佐賀	高山煉炭場	佐賀市唐入町	四、五〇〇円	大正十二年五月	一	二、一〇〇	機電動	三	二	七二、九〇〇㍍	六二、九〇〇
	武內商會工場	杵島郡武雄町	一、五〇〇	大正十三年十月	一	二五	石油發動機	一	二	一三、五〇〇	一三、五〇〇
	峰守煉炭工場	藤澤郡濱町	一、〇〇〇	大正十三年一月	一	七五	石油發動機	一五	二	八、〇〇〇	八、〇〇〇
	計		七、〇〇〇		三	三五二		四五	六	九四、四〇〇	九四、四〇〇
熊本	熊本煉炭所	熊本市上熊本	三〇、〇〇〇円	大正十二年十二月	一二	二一〇〇	機電動	三五	一六	五四〇、〇〇〇	五四〇、〇〇〇
	三浦煉炭所	熊本市春日町五三〇	一〇、〇〇〇	大正十二年十二月	一	五〇	機電動	三	五	二七〇、〇〇〇	二七〇、〇〇〇
	三星煉炭所	熊本市春竹町	三、〇〇〇	大正十四年一月	一	四八	機電動	三	五	一九二、五〇〇	一九二、五〇〇
	三角工場	飽託郡日吉村大字世安	一〇、〇〇〇	大正十四年一月	一	五〇	機電動	三	五	一九二、五〇〇	一九二、五〇〇
	熊本煉炭八代工場	八代郡太田鄉村大字橫井	一三、〇〇〇	大正十二年十月	一	四〇	機電動	三	三	一六二、〇〇〇	一六二、〇〇〇
	計		六六、〇〇〇		五	三五〇		一六	一九	一、一〇八、三〇〇	一、一〇八、三〇〇
大分	三笠工業株式會社	大分市蓬萊橋詰		大正十四年八月	一	一〇〇	機電動	五	五	一三五、〇〇〇	一三五、〇〇〇
	大分工場	別府市南町		同	一	五〇	—	—	二	六八、〇〇〇	六八、〇〇〇
	別府工場				二	一五〇		五	七	二〇三、〇〇〇	二〇三、〇〇〇
	計				四	三五〇		五	一四	三八七、〇〇〇	三八七、〇〇〇
鹿兒島	木下商店	鹿兒島市上荒田町五九六	一、五〇〇	大正十一年四月	一	一八	—	—	二	二七、〇〇〇	二七、〇〇〇
合計					二	二			三	三、八七二、〇〇〇	三、六三一、〇〇〇
計	大河工商會	鹿兒島市加治屋町一二八	五〇〇	大正十三年三月	一	一六	—	—	二	八、一〇〇	八、一〇〇
合計			二、〇〇〇		二	三四			四	三五、一〇〇	三五、一〇〇
			一、九七二、五〇		九二七、九五三				四二〇四三	二〇、一九一、四五二	一九、八一七、〇八八

二、石炭ヲ主原料トスルモノ

府縣	會社又ハ工場名	所在地	資本金	設立年月日	工場數	同上建坪	動力種類	馬力數	職工男女計	主要原料年消費額	製品年生産額
石川	金澤炭業商會	石川郡米丸村字中二ノ二六	八〇、〇〇〇円	大正十四年三月	一	四〇〇	機電動	三〇人	二	一、三五〇、〇〇〇㍍	一、三五〇、〇〇〇
長野	西山煉炭製造工場	長野市大字鶴賀七五一	六、〇〇〇	大正九年十二月	二三、五		機電動	二八	八	五四、一四四	一八、六二八
	梅田煉炭製送所	長野市大字三輪五六七	一、五〇〇	大正十二年	一	一五	機電動	一一	一	コールシンダー一〇、四〇〇	三、一四〇
	計		七、五〇〇		二三七、五			三九	九	六四、五四四	二一、八七八
大阪	大阪乾餾工業株式會社	大阪市港區新千歲町一一八三	一、〇〇〇、〇〇〇	大正十二年三月	二	三〇〇	機電動	八四〇	二三	二、一九二、〇〇〇	二、一八七、〇〇〇
	日本製炭株式會社	大阪市港區大正通一ノ八	二五〇、〇〇〇	大正七年	一	二九〇	機電動	五	六	一、二八〇、〇〇〇	一、二四〇、〇〇〇
	木津川工場	大阪市西成區津守町七七二							三		
	宇部工場	山口縣宇部市東新川							九		
	計		一、二五〇、〇〇〇		三	三一九〇			三四	三、八七二、〇〇〇	三、六三一、〇〇〇
山口	日本製炭株式會社	大阪市港區大正通一ノ八	山口縣ノ分ニ記入セシニ付キ省略	大正七年							

府縣	會社又ハ工場名	所在地	資本金	設立年月日	工場數	同上動力種類	同上建坪數	職工數 男	職工數 女	職工數 計	主要原料年消費額	製品年生産額
山口縣	宇部工場	山口縣宇部市東新川	円	大正十四年六月	一	機電動	一、三五〇	五二六	四三〇	一、九六〇	一、九三〇、〇〇〇㎏	一、九三〇、〇〇〇㎏
大阪府	木津川工場	大阪市西成區津守町七七二	三〇、〇〇〇	大正十四年六月	一	機電動	一八〇	六	五	一一	三七八、〇〇〇	三三五、〇〇〇
福岡	宇部寶炭製造所	宇部市東區海岸通	三〇、〇〇〇	大正十四年六月	二	機電動	一、六〇〇	二五	三	二九四一	二、二九八、〇〇〇	二、二五、〇〇〇
計					三		三、一八〇	三一	三	三四	三、六二八、〇〇〇	三、三五、〇〇〇
福岡	三笠工業株式會社	本社若松市										
合計	戸畑工場	戸畑市築地町	一、三五、三〇〇	大正十年八月	一	機電動	一三〇八、三五	一五	一三	四三八、〇〇〇	四三八、〇〇〇	
石川	神保商會煉炭研究所	金澤市葛町	二五、〇〇〇	大正十四年四月	一	機電動	五〇	一〇	二	四六	九七、〇〇〇	九〇、〇〇〇
大阪	三谷鑛業所工場	大阪市中通一丁目		大正十三年								
	東製炭工業株式會社工場	兵庫縣三原郡賀集村	兵庫縣ノ分ニ記入セシニ付キ省略									
		大阪市東區今橋一丁目	五〇〇、〇〇〇	大正十三年八月								
		大分縣宇佐郡天津村	大分縣ノ分ニ記入セシニ付キ省略									
計			五〇〇、〇〇〇									

三、木質亞炭ヲ主原料トスルモノ

兵庫	三谷鑛業所	兵庫縣三原郡賀集村			一	三五	—	—	一〇	一〇	二七〇、〇〇〇	一六二、〇〇〇
大分	東邦製炭工業工場	大分縣宇佐郡天津村			二	二〇〇			一六	一六	（事業中止中）	
總計			五五、〇〇〇		三	二八五			一〇二八	四三一	一、二四三、〇〇〇	一、〇六二、〇〇〇

四、鋸屑雜木炭等ヲ主原料トスルモノ

青森	青森煉炭所	青森市大字造道字浪打	二五、〇〇〇	大正十四年一月	一	機電動	五〇	二〇	五	一〇	木炭粉 六〇、〇〇〇	一八〇、〇〇〇
長野	新井玉丸煉炭所	長野市大字鶴賀六三	三、五〇〇	大正十四年	一	機電動	三六	二	三	雜木草炭 七、七七〇	八、〇〇〇	
靜岡	清水末廣興業所	清水市千歲町一丁目	三五、〇〇〇	大正十二年	一	機電動	三五	一〇	一〇	鋸屑 一、八〇〇、〇〇〇	三六〇、〇〇〇	
合計			六三、五〇〇		三		四一		二七	一八	五三	一、八六七、七七〇
總計			三、九三、三〇〇		一〇七	四〇五、三五		六一	九六七	九二七九	三一、三三、七六五	二九、一三三、九一六

524
730

昭和二年十月十五日印刷
昭和二年十月十八日發行

農林省山林局

印刷者　東京市淺草區南松山町四十六番地　木島三代太郎
印刷所　東京市淺草區南松山町四十六番地　株式會社正行社丸三印刷所

524
730